

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	めん都盛岡推進事業			事業コード	2388
担当課等	所属名	商工観光部 ブランド推進課	担当係名		
	課長名	商工観光部 ブランド推進課	担当者名	小原幹男	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 盛岡ブランド推進事業(010-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒(開始年度 平成18年度～)					
事務事業の概要	盛岡には、わんこそば、盛岡冷麺、盛岡じゃじゃ麺など全国に誇る麺文化が根付いており、生麺の消費量が全国一多い街である。このことから、「めん都盛岡」を宣言し、麺を特産品ブランドの主要ブランドとして位置づけ、めん文化の情報発信を行う。					
根拠法令等	この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか) 昭和61年に盛岡でニッポンめんサミットを行ない盛岡のわんこそばを紹介したほか、「盛岡冷麺」を出品し、これを機に「盛岡冷麺」が一躍全国に広く知られるようになった。そのことからこれらの麺文化を発信するため開始された。					
	この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか わんこそばの知名度はもともと全国的にあったが、盛岡デーなどにおいても、盛岡冷麺、盛岡じゃじゃ麺なども広く知られるようになってきている。					
	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか変化したか。今後の見通しはどうか 盛岡三大麺は広く知られるようになってきており、今後さらに宣伝が必要と思われる。					

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡市内を訪れる観光客	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 観光客入込数 B. C.	単位 万人回 単位 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡麺物語を作成するとともに、盛岡麺マップを配布した。盛岡ブランドフォーラムで盛岡三大麺をテーマにパネルディスカッションを開催した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 23年度は負担金の予算計上なし。商工課所管の盛岡麺まつり事業に統合。特産品ブランド認証制度や盛岡デーなどを活用し、宣伝活動を継続する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 麺マップ作成部数 B. C.	単位 部 単位 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	盛岡の麺の魅力をPRし、盛岡を訪れる観光客を増やす。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 観光客入込数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位 万人回 単位 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業 ごとのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(単位:%)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	観光客入込数	万人回	472	459	466	444			年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	麵マップ作成部数	部	-	55,000	50,000	41,000			年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	観光客入込数	万人回	472	459	466	444			年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	300	300	200	200	0	0	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円	150	300	200	200			*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	150	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	300	300	200	200	0	0	*****
	延べ業務時間数	時間	4	40	40	40			*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	16	160	160	160	0	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	316	460	360	360	0	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:ブランドリーダーである盛岡三大麺が発展することにより地域も豊かになる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:盛岡三大麺は認知度はあるが、全国的な販路拡大のためには、市の支援が必要である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:観光客に対してわんこそば、盛岡冷麺、じゃじゃ麺をPRすることを目的とした事業である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:盛岡三大麺の魅力を知ってもらうことで成果につなげる事業である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:盛岡デー等のイベントと同時に、盛岡三大麺をPRするイベントを開催する。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 影響がある	理由:商工課所管の盛岡麺まつり事業に統合し、知名度向上に向けたPR活動を展開するほか、特産品ブランド認証制度や盛岡デー等の催事でのPR活動を行うことで、施策成果に及ぼす影響はない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:商工課所管の盛岡麺まつり事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容:商工課所管の盛岡麺まつり事業に統合し、知名度向上に向けたPR活動を展開するほか、特産品ブランド認証制度や盛岡デー等の催事でのPR活動を行うことで連携を図り、成果向上につながる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容:商工課所管の盛岡麺まつり事業に統合することで事業費を削減できる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容:商工課所管の盛岡麺まつり事業に統合することで人件費を削減できる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 商工課所管の盛岡麺まつり事業に統合し、知名度向上に向けたPR活動を展開するほか、特産品ブランド認証制度や盛岡デー等の催事でのPR活動を行うことで連携を図る。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり : ② 有効性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり : ③ 効率性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり : ④ 公平性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 三大麺の商標登録を行ったことでブランド推進の一定の成果を得たが、各麺毎の事業者がまとまり事業を展開していく方向性を検討していく必要を感じた。					
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 終了</td> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                     </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table> 時期:23年度から 方向付けの理由と改革改善の内容 三大麺の商標登録を行ったことでブランド推進の一定の成果を得たことから事業は廃止するが、関係課とともに盛岡ブランドのリーダーとしての認識に変わりないことから今後もPRIに努める。		<input checked="" type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input checked="" type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						